

# 2009年インフルエンザパンデミック(H1N1) その広がりと健康被害

WHO グローバルインフルエンザプログラム  
進藤 奈邦子

2010年5月28日



## 1. パンデミックインフルエンザの広がりと WHOの対策



# 経緯 パンデミックインフルエンザ(H1N1)2009年

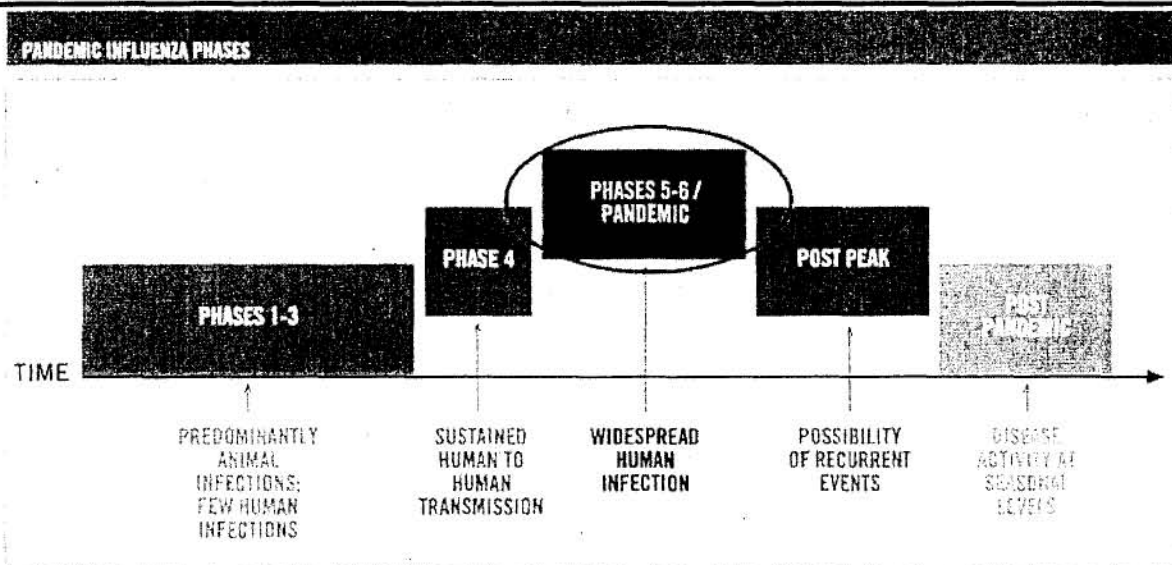
- 4月12日: メキシコ・ベラクルスの町で発生した原因不明の呼吸器感染症集団発生がWHOに報告。
- 4月15・17日: アメリカ・カリフォルニア州南部の子ども二人から新型インフルエンザウイルスが分離。
- 4月23日: メキシコでも新型インフルエンザ患者を確認。
- 4月24日: WHO 国際保健規約に基づき国際緊急事態を宣言。
- 4月27日: WHO 人-人感染が容易に起こり、感染が拡大するとして「フェーズ4」宣言。
- 4月29日: WHO 2カ国以上で感染が拡大、「フェーズ5」宣言。
- 6月11日: WHO の複数の地域に感染が拡大、パンデミックは不可避として「フェーズ6」宣言。

わずか9週間で全てのWHO地域に感染が拡大



World Health Organization

## WHO パンデミックインフルエンザフェーズ



- フェーズ 5 と 6 は、地理的な感染の拡大に基づく。

\* 重症度とは無関係



World Health Organization

# H1N1 パンデミックに対するWHOの対応

## WHOの全体目標

### パンデミックの影響を可能な限り軽減する

- 感染の広がりと活動状況の監視（疫学、ウイルス、臨床知見 等）
- 科学的情報の収集とガイダンスの作成
- 加盟国への指導-支援
- ワクチンの確保
- 抗インフルエンザ薬の確保
- 国際保健におけるリーダーシップをとり、協力を促進

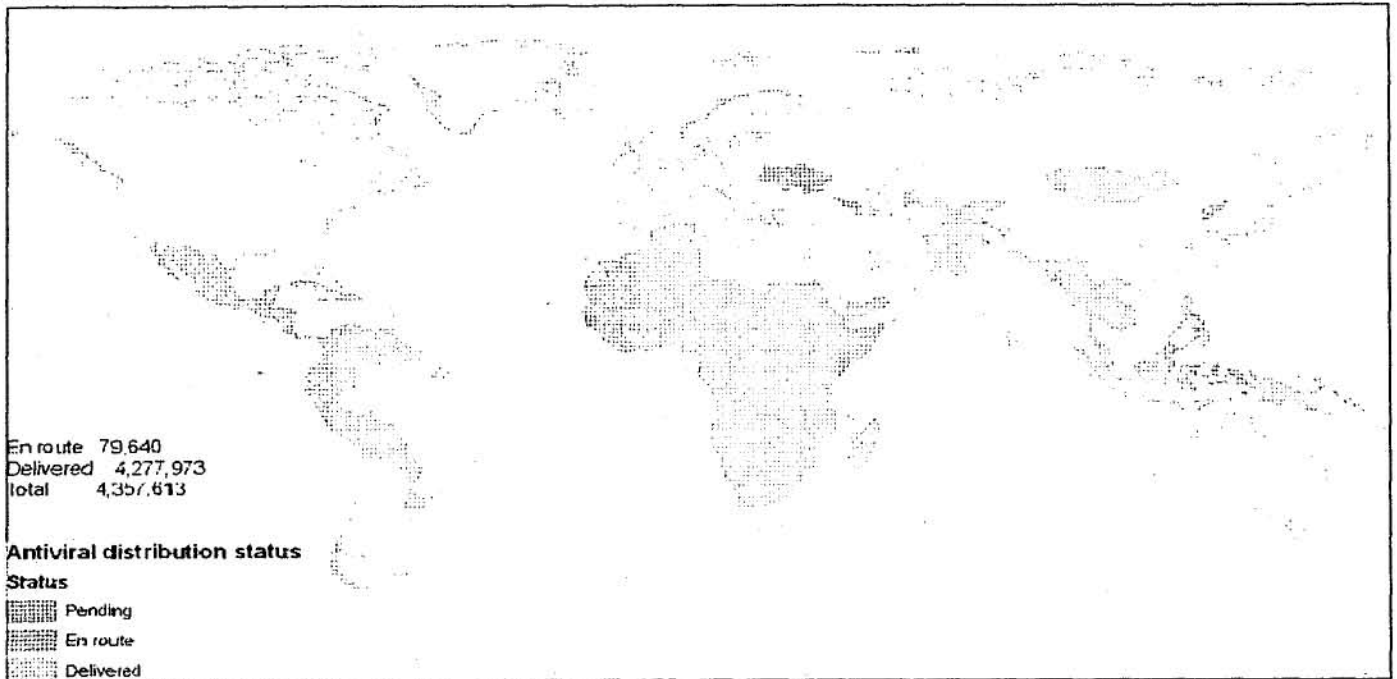


## 診断キットの出荷状況

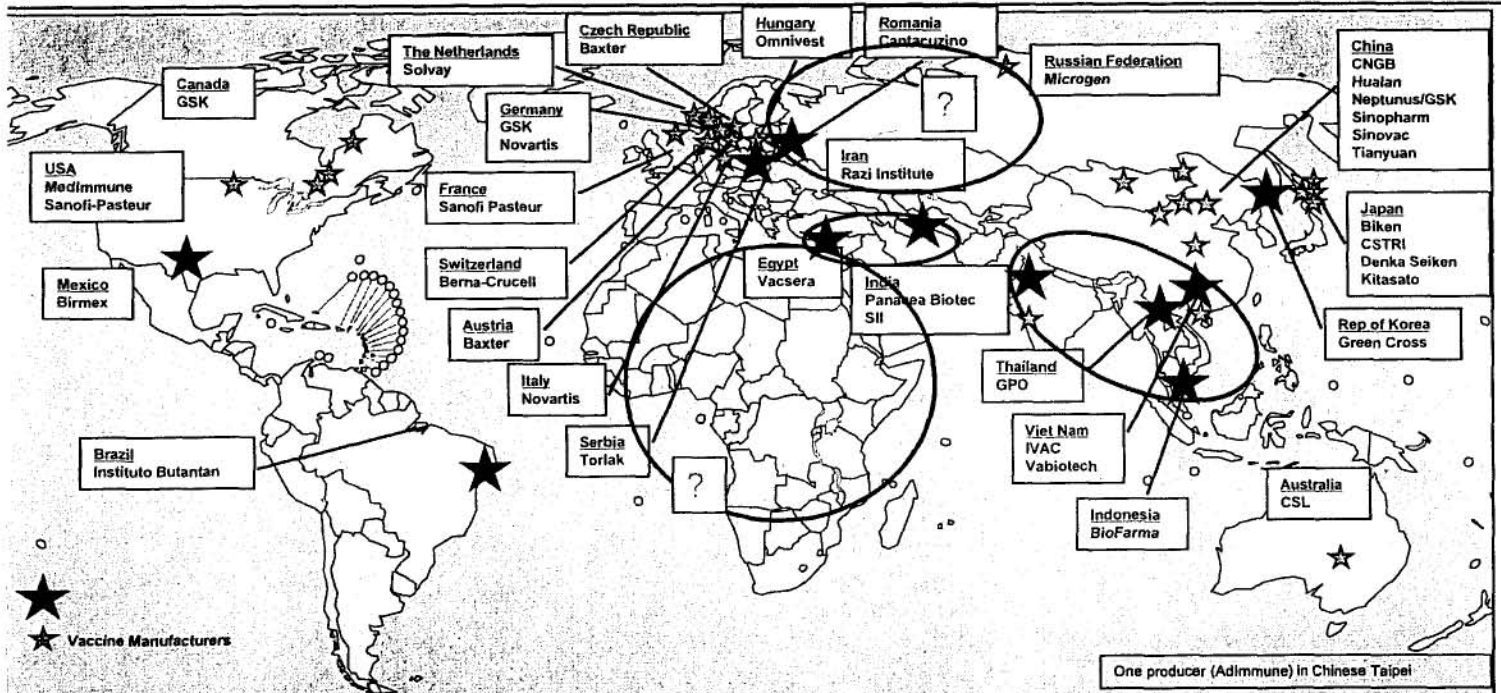
140 カ国, 811 キット (2009年9月)



# WHO戦略的抗インフルエンザ備蓄薬 配布状況 71カ国 + メキシコ



## インフルエンザワクチン製造者 (2010年1月現在; 実動および予定)



# パンデミックインフルエンザ 世界の現状

(2010年5月21日現在)

- 214の国と地域で感染を確認
- 死亡者数は18097人以上
- 多くの国で確定検査をしなくなり、感染者数の報告をしなくなった（とくに入院を要さない軽症例について）
- WHOは4つの指標で世界の状況を監視
  - 地理的拡大
  - 呼吸器疾患の活動性状況（前週比）
  - 急性呼吸器疾患の活動性強度
  - 健康機関への負担



World Health  
Organization

## パンデミックインフルエンザ(H1N1)現在の流行状況

(2010年5月21日現在)

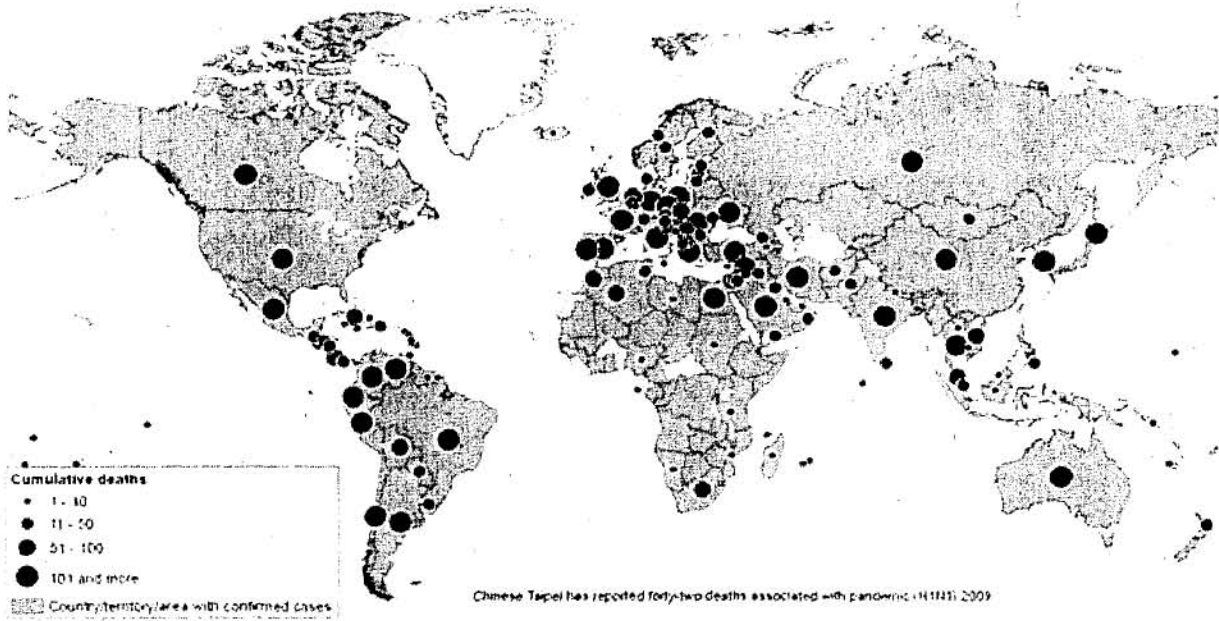
- 現在最もウイルスの活動性が高い地域は、カリブ海や東南アジアの一部
  - 北半球と南半球の温帯地域では、全体的に新型インフルエンザの活動性は散発的で低い状況が継続。
  - アフリカ中央部は、世界でも最も活発なインフルエンザの感染がみられるが、その約85%は季節性インフルエンザウイルスB型。
- \* インフルエンザB型は、アジアとヨーロッパの一部の地域において、低いレベルで検出され続けており、現在は中米においても報告がでている。



World Health  
Organization

# パンデミック(H1N1) 2009感染の広がり と 死亡数

2010年5月16日 現在



© WHO 2010. All Rights Reserved. Disclaimer

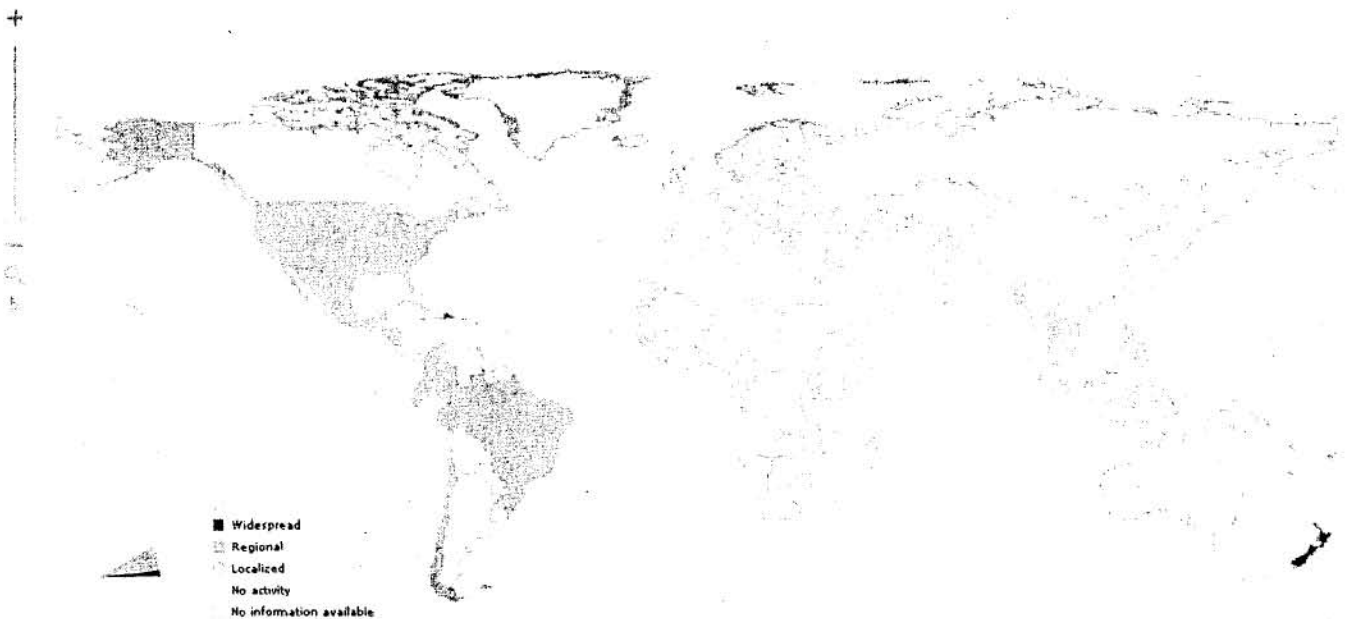
[View/download static maps](#)



World Health Organization

# パンデミックインフルエンザの地理的拡大

2010年5月 18週(5月3日~9日)



World Health Organization